



## 令和5年度若葉祭（10月21日）

「私たちの青春に 鮮やかな色を そして、美しい音色を」のテーマのもと、全校生で創り上げた若葉祭を開催しました。今年は広く開放し、保護者（家族）・地域の皆様に学びの成果を披露できたことはたいへん意義深く思います。限られた時間の中で生徒たちが練習してきた合唱や有志発表などをご覧いただき、子どもたちの成長、そして可能性を共に実感していただけたことと思います。開会式での生徒会の演出劇から始まり、和太鼓演奏、



合唱発表、有志発表、吹奏楽部演奏、閉会式のメイキングビデオ放映まで感動の連続でした。玉中生のパワーと可能性を感じました。準備や練習の過程では、様々な困難があったことと思います。うまくできなくて挫折しそうになった場面もあったかもしれません。その困難や挫折も含めて、若葉祭に向けてみんなで頑張ってきたことは、生徒たちにとって、大切な学びだと思えます。「一人ではできないことに仲間みんなで挑戦する。そこに学校で学ぶ大きな意義がある。」と思えます。まさに、みんなで創り上げた「若葉祭」。生徒たちは、最高のパフォーマンスを見せ、一人一人がそれぞれに輝きを見せ、玉川中の歴史の1ページを飾ってくれました。



### ～ 若葉祭アンケートから ～

「参加できない生徒の分まで頑張る姿、合唱他すべてに全力で取り組む姿に感動しました。」など、多くの方々より励みとなる感想をいただきありがとうございました。

運営面では「インフルエンザの流行で欠席者が多い中、延期にした方がよかったのではないか。」という意見をいただきました。状況を見ながらいろいろな方法を検討しましたが、それぞれの学年で若葉祭後には行事を控え、特に3年生は、学力テスト、高校説明会、進路相談と進路に関わる重要な行事を控えていることから、延期とするならば全体での開催ではなく学年毎の合唱発表会にせざるを得ない状況でした。そこで、今回のように欠席が多い中でも予定通り全体での若葉祭を実施した上で（人数が少なく合唱が厳しい場合は別の内容で発表するか、少人数でも合唱を発表するかは学級で選択してもらいました。）、学年の状況で別日に学年合唱発表会を実施することとしました。残念ながら、3年生については状況が改善せず、進路に向けて意識を切り替えたいという意向もあり学年発表は実施できませんでしたが、卒業式で感動させてくれることと期待しています。保護者の皆様のご期待に添えない部分もありましたが、子どもたちは、困難な状況を乗り越えるためみんなで協力し精一杯頑張りました。ご理解いただきたいと思えます。

## 2年食育 ～スポーツと栄養～（10月25日）

2学年で、常磐給食センター栄養教諭の新妻祐美先生を講師に招き養護教諭とともに「スポーツと栄養」のテーマのもと、食育教室を実施しました。スポーツをする上で大切な筋力や持久力を高めるために必要な栄養素について理解を深めるとともに、よりよいパフォーマンスをするためには、練習と食事と休息のバランスが大切であることを学びました。

